
2) 保全の方法（作成例 3-2）

②（電気）目次

| | |
|--------------------------------|-------|
| E- 1_分電盤 | |
| E- 2_照明制御装置（照明制御盤） | |
| E- 3_照明制御装置（明るさセンサ・人感センサ） | |
| E- 4_照明器具 | |
| E- 5_コンセント | |
| E- 6_制御盤 | |
| E- 7_受変電設備 | |
| E- 8_太陽光発電装置 | |
| E- 9_構内交換装置 | |
| E-10_時刻表示装置 | |
| E-11_拡声設備 | |
| E-12_誘導支援設備（トイレ等呼出装置・インターホン装置） | |
| E-13_テレビ共同受信設備 | |
| E-14_非常警報設備 | |
| E-15_屋外（ハンドホール） | |
| E-16_屋外（接地・地中埋設標） | |
| E-17_屋外（屋外照明器具） | |
| E-18_屋外（地中線用引込開閉器（UGS）） | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-1 | 分電盤 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|--|-----|--|
| <p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物内の照明、コンセント、その他機器に電源を供給するための設備です。 ・電灯機器に異常が発生した場合、又は容量を超えて使用した場合、幹線を保護するために分電盤内のブレーカで電気の供給を遮断します。 ・感電事故の原因、いたずら防止のため分電盤の扉は必ず施錠し、容易に第三者が操作することのないように管理してください。 ・ブレーカを通常の入/切には使用しないでください。 ・点検の結果は、点検表に記録して保管してください。 | | |
| <p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：保安規程で点検対象としている場合は、保安規程の点検周期を参照 ・確認：1回/1年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 編第 3 章 3.2.2 「分電盤・開閉器箱・照明制御盤」 | | |
| <p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 3 章 3.2.2 「分電盤・開閉器箱・照明制御盤」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p> | | |
| <p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分電盤の電気供給エリアの照明器具、コンセントが使えなくなっている場合は、主幹ブレーカが落ちた（トリップした）可能性があります。部分的に使えなくなっている場合は分岐ブレーカがトリップした可能性があります。いずれの場合も、電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼し、原因特定後に復電を行ってください。 ・ブレーカから異常な音や焼き焦げた臭いがする場合は、ブレーカの故障と考えられます。直ちに電源を切った後、電気主任技術者や点検業者等に調査、修理を依頼してください。 | | |
| <p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| <p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

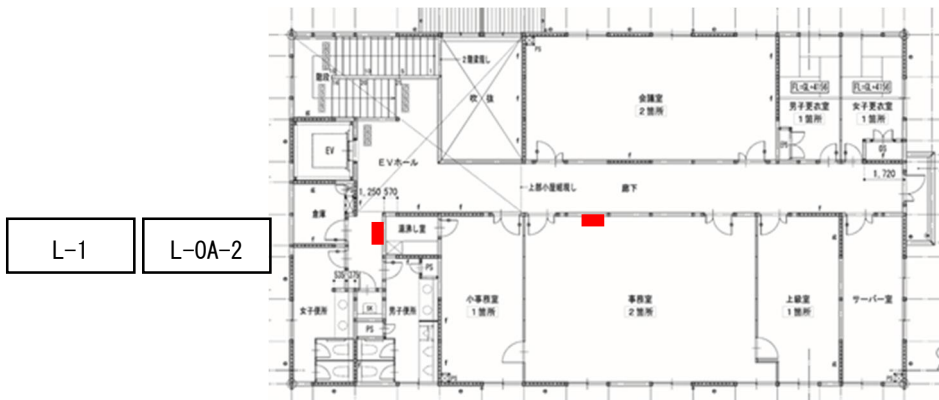
| | | |
|---------------|-----|--|
| 保全対象項目 E-1 | 分電盤 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|---------------|-----|--|

■ 保全対象（写真等）

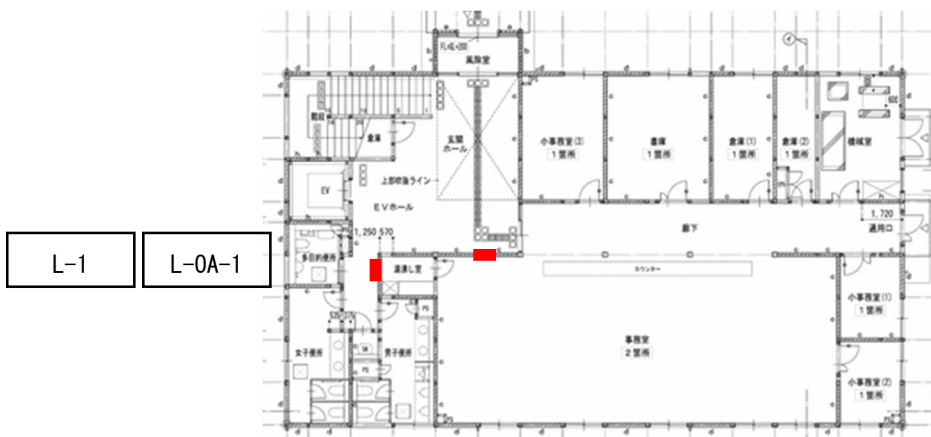


分電盤

■ 保全対象の場所（図面等）



2階平面図



1階平面図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-2 | 照明制御装置（照明制御盤） | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|--|---------------|--|
| <p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地側でのスイッチの他、合庁管理室総合盤面の液晶タッチスイッチより遠隔で点灯・消灯が可能です。（リモコンリレーに接続されている回路に限ります。） ・ 事務室内は明るさセンサにより初期照度補正、昼光制御を行っています。 ・ 外灯は、照明制御盤によりスケジュール制御を行っています。 | | |
| <p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし ・ 確認：1回/1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第3章3.2.2「分電盤・開閉器箱・照明制御盤」 ・ 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 | | |
| <p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.2.2 分電盤・開閉器箱・照明制御盤） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p> | | |
| <p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明制御の動作不良、センサ動作不良 → 専門業者に調査、修理を依頼してください。 ・ センサ動作不良（調光制御不良）は、照明制御盤表示部におけるトレンドグラフで判断できます。 | | |
| <p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| <p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---------------|---------------|--|
| 保全対象項目 E-2 | 照明制御装置（照明制御盤） | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|---------------|---------------|--|

■ 保全対象（写真等）



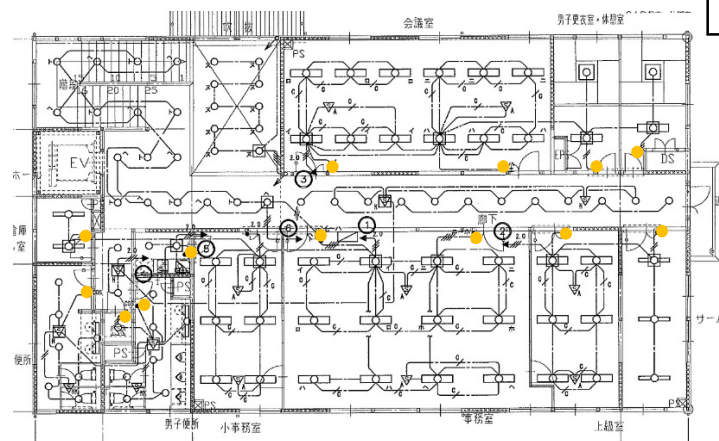
照明制御盤



壁スイッチ

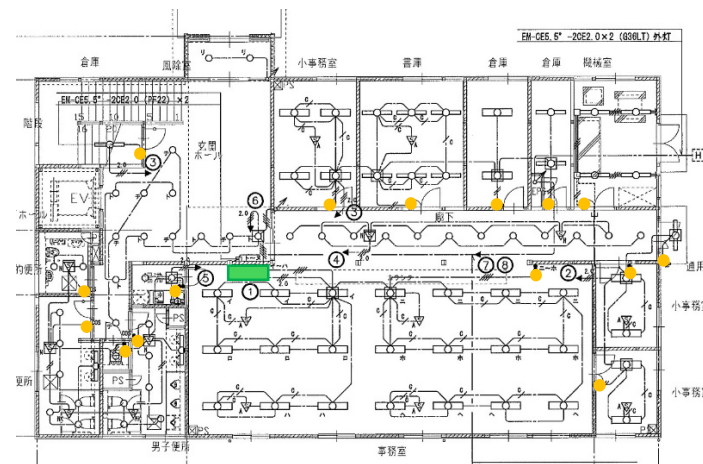
■ 保全対象の場所（図面等）

※ 照明制御盤は1階事務室に設置。スイッチは各所に設置。



照明制御盤
 スイッチ

2階平面図



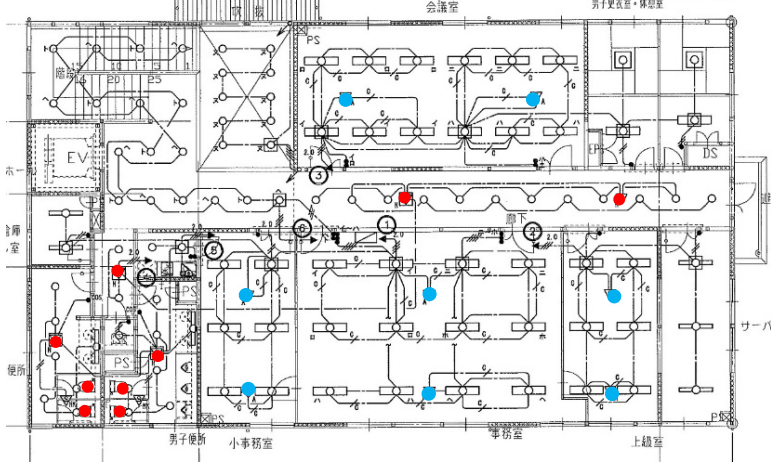
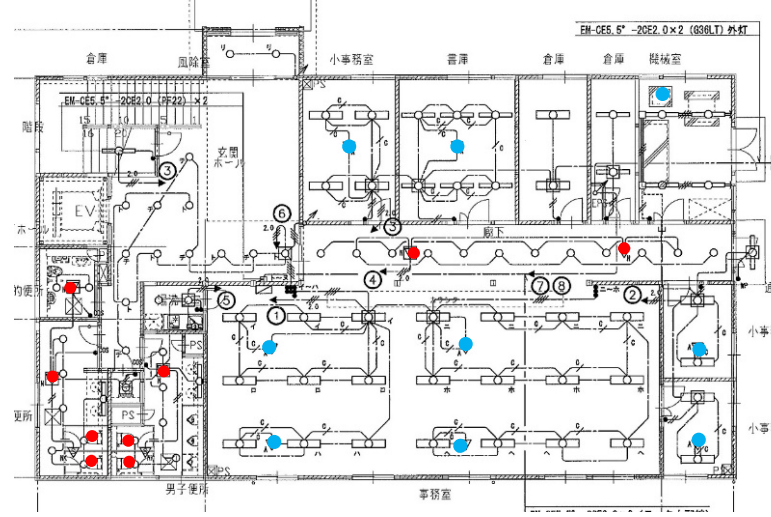


1階平面図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-3 | 照明制御装置（明るさセンサ・人感センサ） | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|---|----------------------|--|
| <p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るさセンサは、設定された明るさを維持するため、外光や LED の光束低下に合わせて照明器具の明るさを調整する機器で、1 階及び 2 階の事務室に設置されています。 ・人感センサは、人が近づくと自動的に照明器具を ON、OFF します。動作保持時間は 3 分で設定しています。設定はセンサ内部のディップスイッチで行います。 ・人感センサは、センサごとに、動作保持時間を 5 秒～30 分まで設定可能で、廊下及びトイレに設置しています。 | | |
| <p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1 回／1 年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 | | |
| <p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p> | | |
| <p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損傷 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に修理を依頼してください。 ・調光不良 <ul style="list-style-type: none"> → センサが不良か、照明器具が不良の場合もあります。専門業者に調査を依頼してください。 ・点灯しない <ul style="list-style-type: none"> → センサが不良か、照明器具が不良の場合もあります。専門業者に調査を依頼してください。 | | |
| <p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 | | |
| <p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |



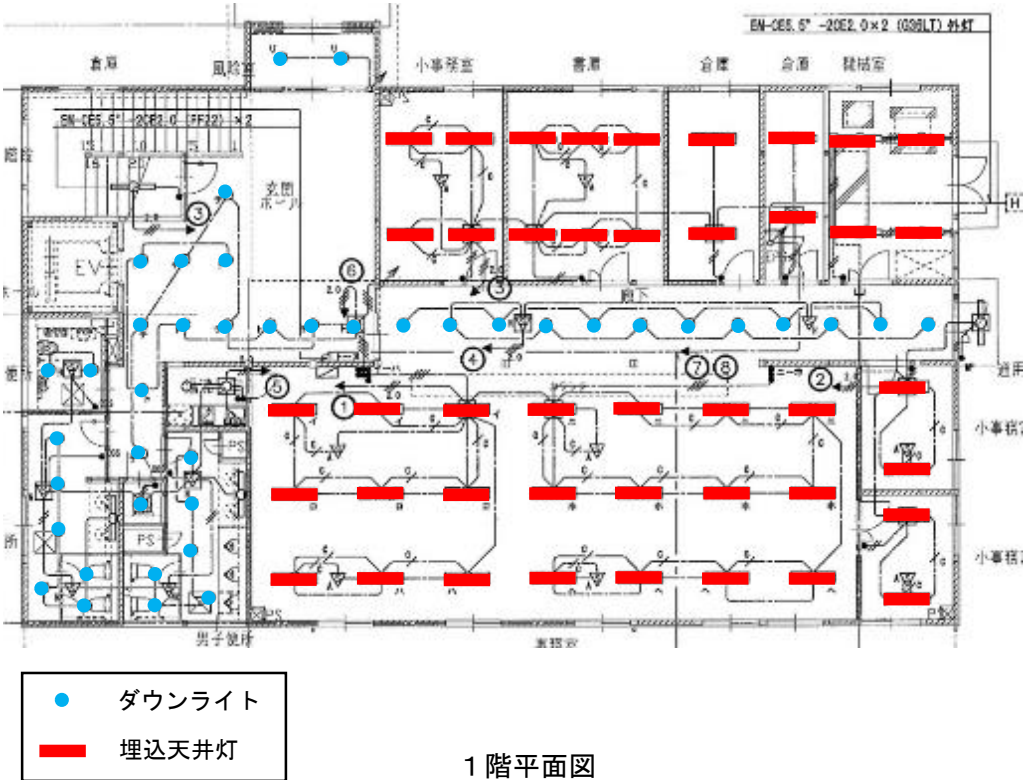
2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---|----------------------|--|
| 保全対象項目 E-3 | 照明制御装置（明るさセンサ・人感センサ） | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
| ■ 保全対象（写真等） | | |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>明るさセンサ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>人感センサ</p> </div> </div> | | |
| ■ 保全対象の場所（図面等） | | |
| ※ 1階～2階の事務室に対して照明制御を行っています。 | | |
| <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 70%;">  <p style="text-align: center;">2 階平面図</p> </div> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● 明るさセンサ ● 人感センサ </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 70%;">  <p style="text-align: center;">1 階平面図</p> </div> </div> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-4 | 照明器具 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|---|------|--|
| ①管理上の注意事項 ・ 照明器具には、高効率で消費電力を大幅に抑えることができる LED を使用しています。 | | |
| ②定期点検等周期 □法定点検等周期 ・ 点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） □共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 ・ 第2編第3章3.2.1「照明器具」 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.2.1「照明器具」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 ・ 点灯しない → 電源が入っていない（スイッチがオフ又はブレーカが落ちている。）かを確認してください。電源が入っていない場合、電源を入れてください。 それでも電灯しない場合、専門業者へ調査・修理を依頼してください。 ・ 明るさの低下 → いつもの明るさに点灯しない場合は、専門業者に調査、修理を依頼してください。 ・ ブレーカが落ちる → 照明器具に発煙、損傷、水損がある場合は、専門業者へ修理を依頼してください。 → ブレーカを再投入しても落ちる場合は、専門業者へ調査を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 ・ 完成図 ・ 取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 ・ 共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （共通仕様書第4編第2章2.2.1「玄関ホール」から2.2.11「ごみ集積所」まで） | | |



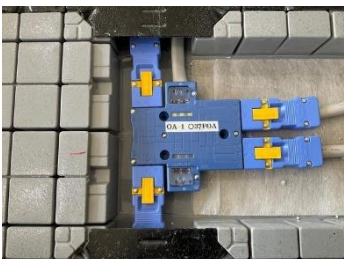
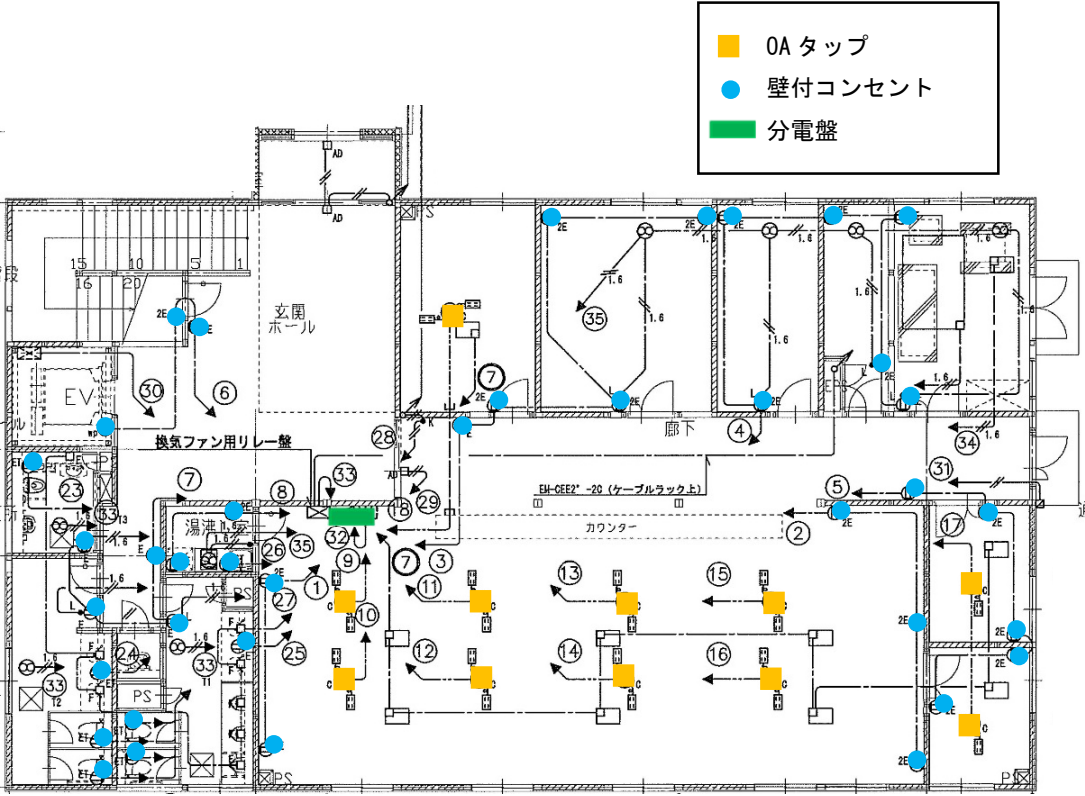
2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-4 | 照明器具 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|--|------|--|
| <p>■ 保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>埋込天井灯</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ダウンライト</p> </div> </div> | | |
| <p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <p>※ 1階平面図の事務室と廊下を参考図として添付します。</p> <div style="text-align: center;">  <p>1階平面図</p> </div> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-5 | コンセント | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|--|-------|--|
| ①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> 本建物には壁付コンセントの他に、事務室では、0A フロア内の配線器具（ハーネスジョイントボックス）を介して、床上に 0A タップを配置しています。 コンセントは防水仕様ではありませんので、清掃時に直接水をかけると漏電、火災の原因となるので注意してください。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> 点検：なし 確認：1 回／1 年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> 損傷 <ul style="list-style-type: none"> → その回路のブレーカを OFF にして、専門業者に調査、修理を依頼してください。 分電盤は各事務室にあります。 注）分電盤内ブレーカを OFF にするまで近づかないでください。 ブレーカが落ちる場合 <ul style="list-style-type: none"> → 接続機器の確認。 容量オーバーでないか。 （接続機器が多すぎる場合は機器を外して再投入。） 接続機器が発煙、損傷、水損していないか。 （異常機器を外して再投入。） 再度、ブレーカが作動する場合は専門業者へ調査を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |


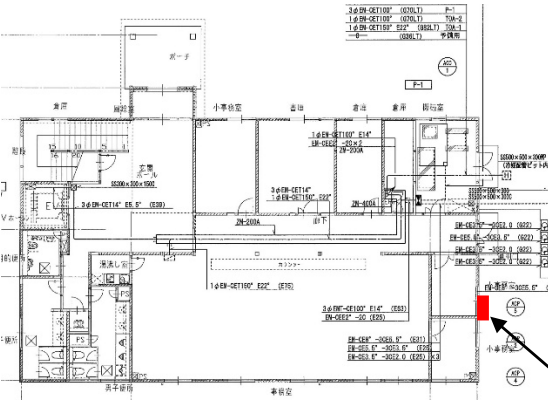
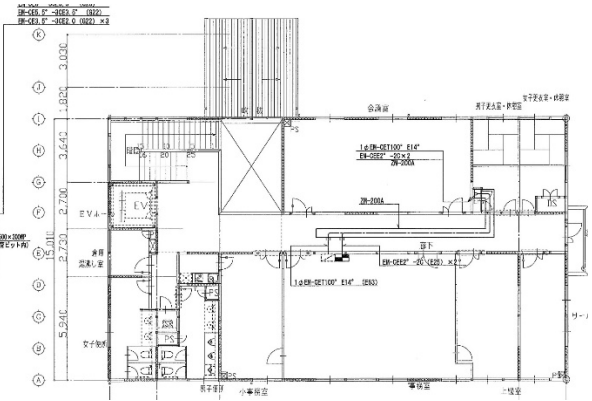
2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---|--------------|---------------------------|
| <p>保全対象項目 E-5</p> | <p>コンセント</p> | <p>部門 □建築 ■電気 □機械</p> |
| <p>■保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>コンセント</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>OA タップコンセント</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>OA フロア内配線器具</p> </div> </div> | | |
| <p>■保全対象の場所（図面等）</p> <p>※参考に、1階平面図を添付します。 なお、4）使用方法（作成例 2-4）□コンセントに配置図があります。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>1階平面図</p> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-6 | 制御盤 | 部門 □建築 ■電気 □機械 |
|---|-----|-------------------|
| <p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物内の空調機、ポンプ、その他機器に電源を供給・制御するための設備です。 ・動力機器に異常が発生した場合、又は容量を超えて使用した場合、幹線を保護するために制御盤内のブレーカで電気の供給をストップします。 ・感電事故の原因、いたずら防止のため制御盤の扉は必ず施錠し、容易に第三者が操作することのないように管理してください。 ・ブレーカは通常の入/切に使用しないでください。 ・点検の結果は、点検表に記録して保管してください。 | | |
| <p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：保安規程で点検対象としている場合は、保安規程の点検周期を参照 ・確認：1回/1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第3章3.2.4「制御盤」 | | |
| <p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.2.4「制御盤」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p> | | |
| <p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制御盤の一括警報は、1階事務室の監視盤に信号を移報します。監視盤ではどの盤で故障が生じたか分かります。 ・分岐回路ごとの異常は中央監視盤に信号の移報は行っていません。過負荷、過電流、漏電によりブレーカ等が落ちるなど（トリップ）したものしたと考えられます。電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼し、原因特定後に復電を行ってください。 | | |
| <p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 | | |
| <p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|--|------------|------------------------------|
| <p>保全対象項目 E-6</p> | <p>制御盤</p> | <p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p> |
| <p>■ 保全対象（写真等）</p> <div style="text-align: center;">  <p>制御盤（屋外）</p> </div> | | |
| <p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>1階平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2階平面図</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">P-1</div> </div> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-7 | 受変電設備 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|--|-------|--|
| <p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力会社から高圧受電した電圧を 100V、200V に変電する設備です。 容量を超えて使用した場合、幹線を保護するために受変電設備内のブレーカで電気の供給をストップします。 屋外の受変電設備のフェンス内へは、むやみに立ち入らないように施錠等をしてください。 点検の結果は、点検表に記録して保管してください。 停電に備えて、懐中電灯等が使えるように用意してください。 | | |
| <p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検：保安規程で点検対象としている場合は、保安規程の点検周期を参照 確認：1回/1年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 2 編第 3 章 3.3.1 「配電盤等（内部機器を除く）」から 3.3.12 「低圧開閉器類」 | | |
| <p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 3 章 3.3.1 「配電盤等（内部機器を除く）」から 3.3.12 「低圧開閉器類」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p> | | |
| <p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 本建物のみ停電 → 電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼してください。 周辺地区も停電 → 電力会社からの供給再開を待ちます。 電力会社から供給再開すれば自動復旧します。 受変電設備の警報（遮断器 OFF、温度異常、ヒューズ断など）を監視盤に移報します。 監視盤でどの盤で故障が生じたか分かります。 | | |
| <p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| <p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 適宜（共通仕様書（令和 5 年版）第 3 編第 1 章 1.1.15 「設備室の清掃」） | | |

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

| | | |
|---------------|-------|--|
| 保全対象項目 E-7 | 受変電設備 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|---------------|-------|--|

■ 保全対象 (写真等)

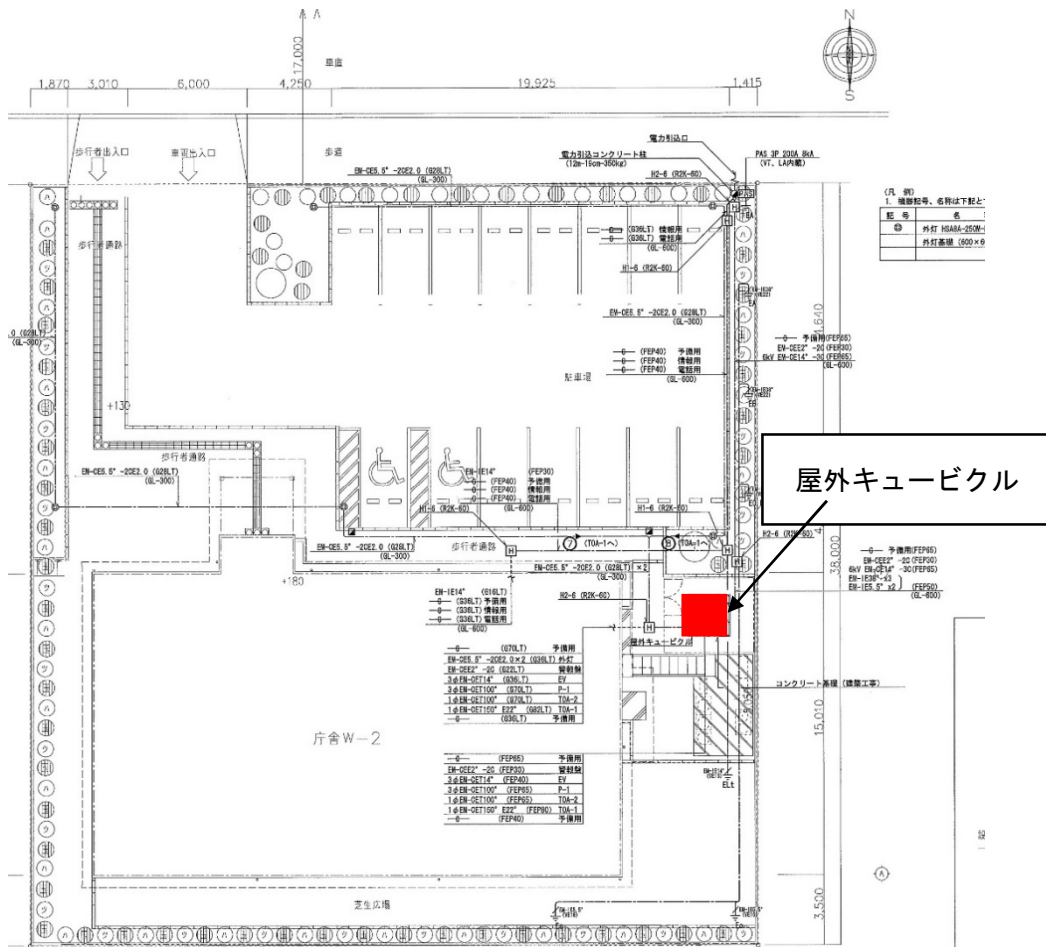


屋外キュービクル



低圧配電盤

■ 保全対象の場所 (図面等)





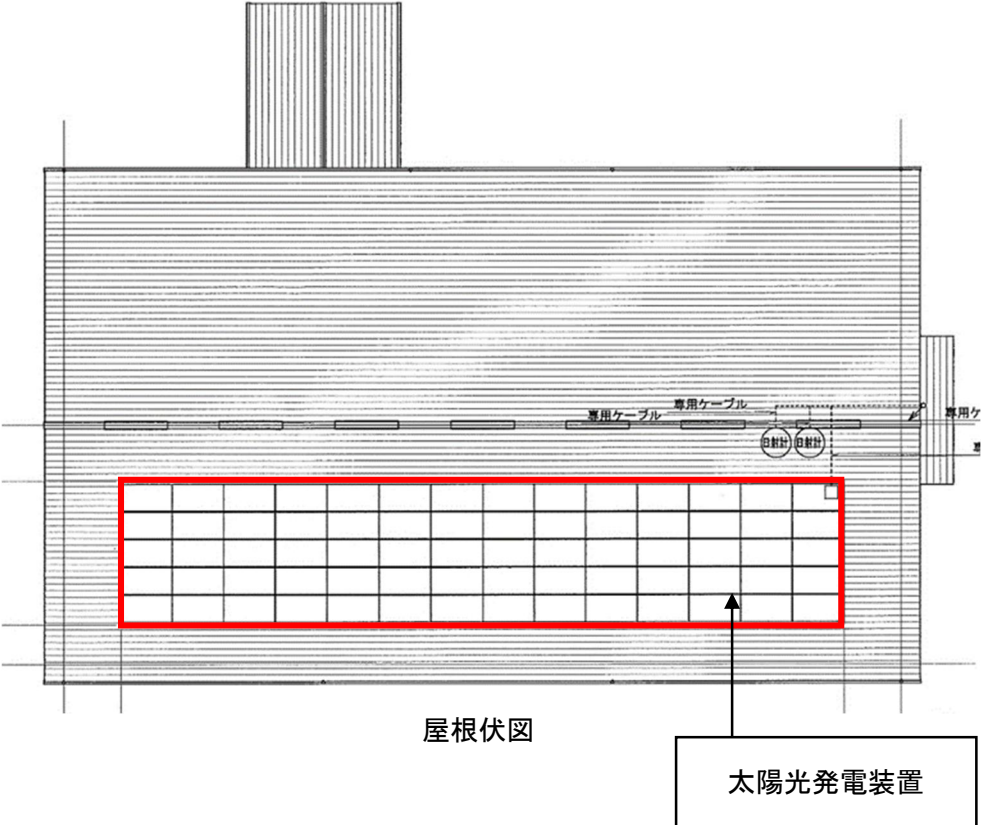


配置図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|--|----------------|---|
| 保全対象項目 E-8 | 太陽光発電装置 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
| ①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋上に太陽光パネル 14kW を設置しています。 ・ 通用口の外部壁面にパワーコンディショナー×1 台を設置しています。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：保安規程で点検対象としている場合は、保安規程の点検周期を参照 ・ 確認：1 回／1 年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 編第 3 章 3. 7. 1 「太陽光発電装置」 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 3 章 3. 7. 1 「太陽光発電装置」） <p>※なお、法定点検（保安規程の点検）の実施にあたっては、共通仕様書に定める作業項目、作業内容をあわせて確認し、電気主任技術者や点検業者等に依頼してください。</p> | | |
| ④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護装置が稼働しない。インバータの異音、異臭の発生、パネルの傷、焼損痕の発生 → 電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼してください。 （パネルに破損が生じた場合は、感電に注意してください）。 | | |
| ⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

| | | |
|---|----------------|---------------------------|
| <p>保全対象項目 E-8</p> | <p>太陽光発電装置</p> | <p>部門 □建築 ■電気 □機械</p> |
| <p>■保全対象 (写真等)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>太陽光パネル</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>太陽光発電計測装置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>太陽光発電表示装置</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>パワーコンディショナー</p> </div> | | |
| <p>■保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>屋根伏図</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">太陽光発電装置</div> </div> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-9 | 構内交換装置 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|--|--------|--|
| ①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 構内交換機は、電話サービスを受けるため設置しています。 ・ 停電したときは、停電対応用のバッテリーが内蔵されているため、30分間程度は電話機が使用できます。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第3章3.9.2「構内交換装置」 ・ 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.9.2「構内交換装置」） ※なお、点検の実施にあたっては、共通仕様書に定める作業項目、作業内容をあわせて確認し、点検業者等に依頼してください。 | | |
| ④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 呼出し、通話ができない → 専門業者に修理を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---------------|--------|-------------------|
| 保全対象項目 E-9 | 構内交換装置 | 部門 □建築 ■電気 □機械 |
|---------------|--------|-------------------|

■保全対象（写真等）



電話交換機

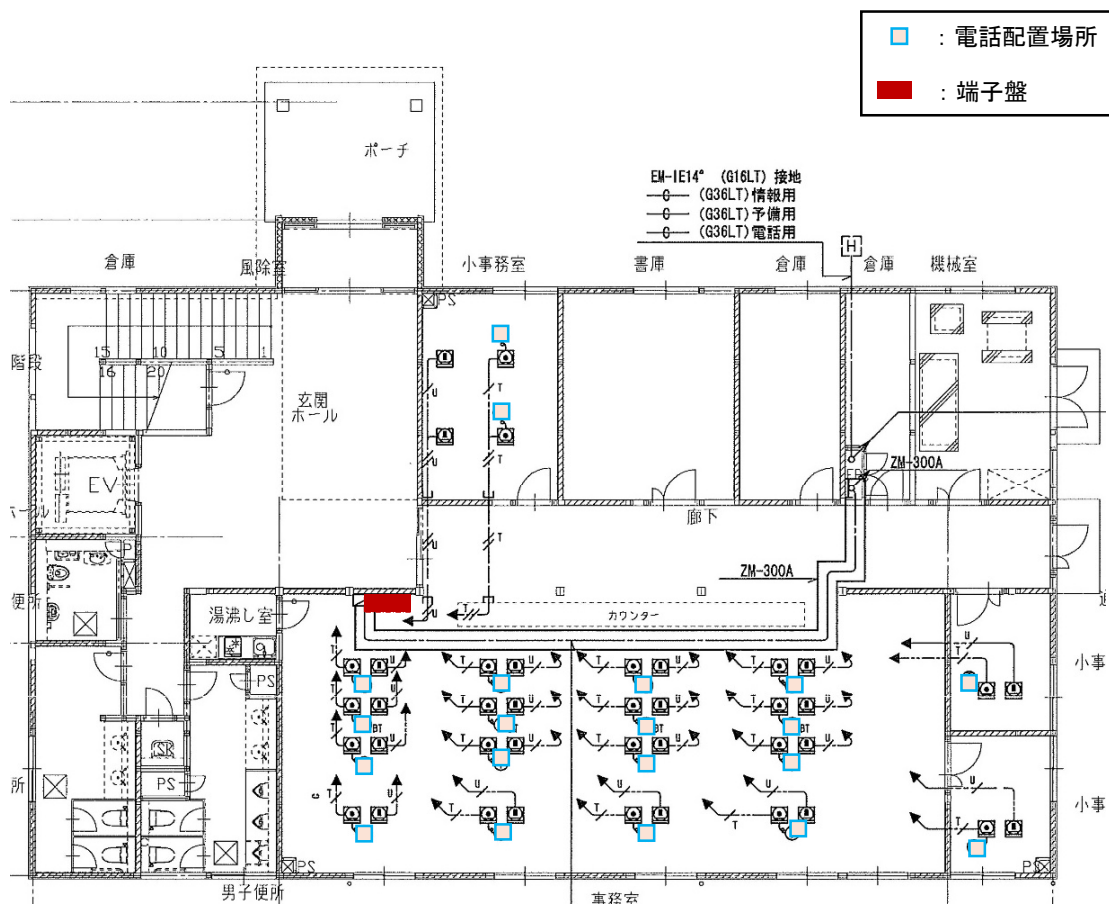


電話機

■保全対象の場所（図面等）

※参考に、1階平面図を添付します。

なお、4) 使用方法（作成例 2-4） ■構内交換・構内情報通信設備に配置図があります。



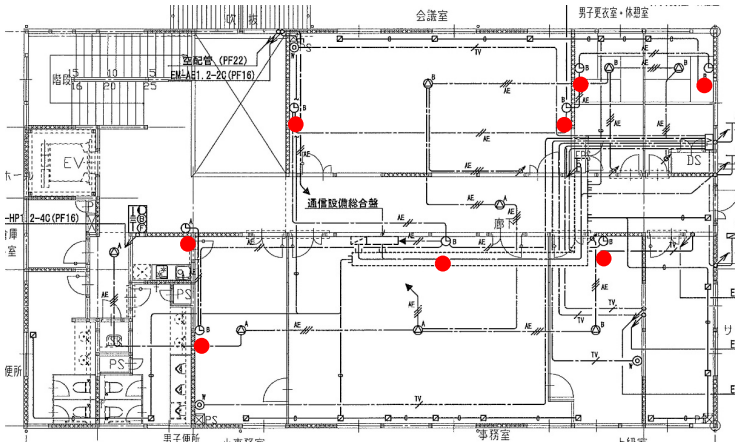
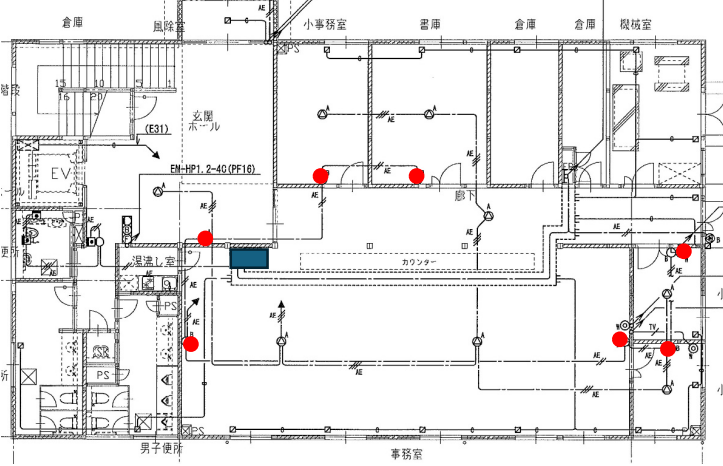


1階平面図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-10 | 時刻表示装置 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|---|--------|--|
| ①管理上の注意事項 ・ 庁舎管理室に親時計を設置して、各所に子時計を設置しています。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 ・ 点検：なし ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 ・ 第2編第3章3.9.6「情報表示装置（マルチサイン装置、出退表示装置、時刻表示装置）」 ・ 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.9.6「情報表示装置（マルチサイン装置、出退表示装置、時刻表示装置）」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 ・ 指示誤差の調整 → 親時計で調整してください。 ・ 指示誤差が直らない、その他の故障 → 専門業者に修理を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |




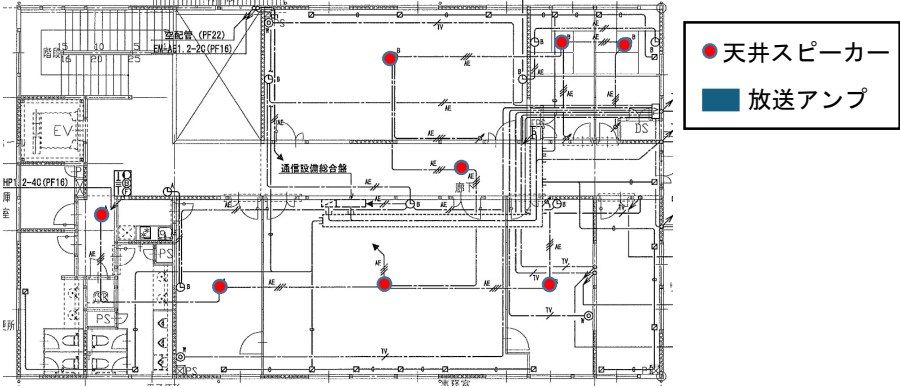
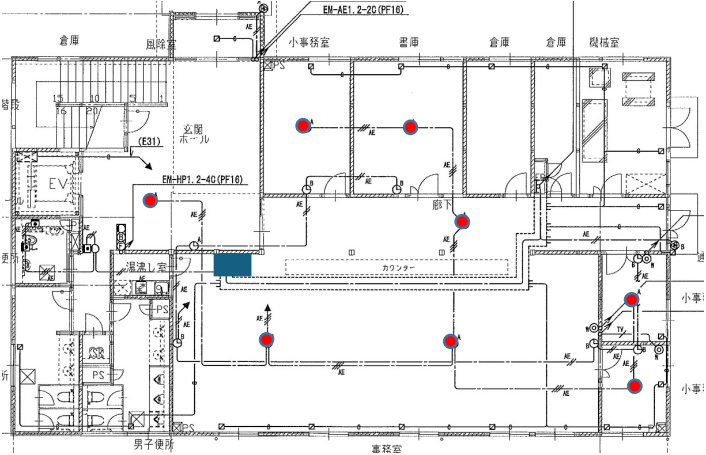
2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-10 | 時刻表示装置 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|---|--------|--|
| <p>■ 保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>親時計</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>子時計</p> </div> </div> | | |
| <p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>● 子時計</p> <p>■ 親時計</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">2 階平面図</p>  <p style="text-align: right;">1 階平面図</p> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-11 | 拡声設備 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|---|------|--|
| ①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・一般放送用アンプです。 ・庁舎管理室のアンプにより館内放送を行うことができます。 ・各所壁にとりつけられているアッテネータにより音量調節が可能です。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1回／1年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・1回／1年（第 2 編第 3 章 3.9.3 「拡声装置」） ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 3 章 3.9.3 「拡声装置」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・放送ができない → 専門業者に修理を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |






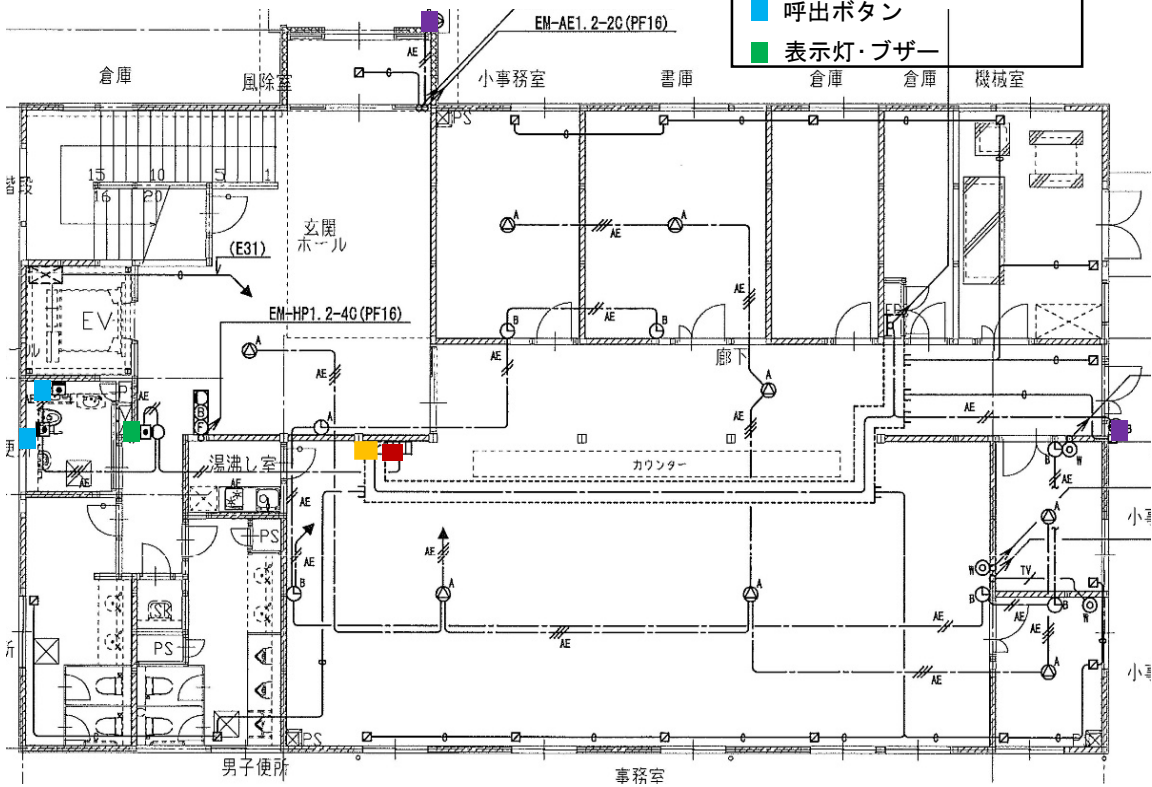
2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|--|-------------|---------------------------|
| <p>保全対象項目 E-11</p> | <p>拡声設備</p> | <p>部門 □建築 ■電気 □機械</p> |
| <p>■保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>放送アンプ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>天井スピーカー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>アッテネータ</p> </div> </div> | | |
| <p>■保全対象の場所（図面等）</p> <div style="text-align: center;">  <p>●天井スピーカー ■放送アンプ</p> <p>2階平面図</p>  <p>1階平面図</p> </div> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-12 | 誘導支援装置 (トイレ等呼出装置・インターホン装置) | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|---|-------------------------------|--|
| <p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ呼出ボタンは防水仕様ではありませんので、清掃時に直接水をかけると故障の原因になります。 ・時間外出入口に庁舎管理室と連絡出来るインターホンを設置しています。 | | |
| <p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第3章3.9.4「誘導支援装置（音声誘導装置、インターホン装置、トイレ等呼出装置）」 ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 | | |
| <p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.9.4「誘導支援装置（音声誘導装置、インターホン装置、トイレ等呼出装置）」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p> | | |
| <p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼出ができない、通話ができない → 専門業者に修理を依頼してください。 | | |
| <p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| <p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-12 | 誘導支援装置 (トイレ等呼出装置・インターホン装置) | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|--|-------------------------------|--|
| <p>■ 保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>トイレ等呼出表示器</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>呼出ボタン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>表示灯・ブザー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>インターホン親機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>障害者対応用インターホン子機</p> </div> </div> | | |
| <p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <p>※ 1階平面図の事務室と廊下を参考図として添付します。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  <p style="text-align: center;">1階平面図</p> </div> <div style="flex: 0.5; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 障害者対応用インターホン ■ インターホン親機 ■ トイレ等呼び出し表示器 ■ 呼出ボタン ■ 表示灯・ブザー </div> </div> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-13 | テレビ共同受信設備 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|---|-----------|--|
| ①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・建物にテレビ電波を受信する目的で設置しています。 ・地上波デジタル放送を受信できます。 ・増幅器は通信情報総合盤内のスペースに設置しています。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1回/1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第3章3.9.7「テレビ共同受信装置」 ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.9.7「テレビ共同受信装置」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビの映りが悪い → テレビの故障を確認し、改善しない場合は専門業者に修理を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|--|------------------|---------------------------|
| <p>保全対象項目 E-13</p> | <p>テレビ共同受信設備</p> | <p>部門 □建築 ■電気 □機械</p> |
| <p>■保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>UHF アンテナ（地上デジタル用）</p>  <p>アンテナ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>テレビ端子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>増幅器</p> </div> </div> | | |
| <p>■保全対象の場所（図面等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  <p>2階平面図</p> </div> <div style="flex: 0.2; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■ アンテナ</p> <p>● TV 端子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="flex: 1;">  <p>1階平面図</p> </div> </div> | | |

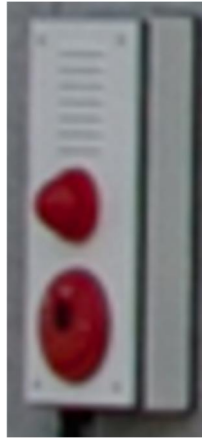
2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-14 | 非常警報設備 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|---|--------|--|
| <p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 各階に設置されている機器収納箱の起動装置を押すとベルが鳴り、庁舎内の人に火災を知らせます。 | | |
| <p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 機器点検：1回／6か月、総合点検1回／1年（平成16年5月31日消防庁告示第9号） 確認：1回／6か月（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2編第6章6.2.2「点検・保守」 | | |
| <p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 法定点検の実施にあたっては、昭和50年消防庁告示第14号及び平成14年消防予第172号を参照ください。 <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p> | | |
| <p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 感知器が発報しない。受信機の応答がない。表示灯が消えている、その他損傷など。 → 専門業者に調査、修理を依頼してください。 | | |
| <p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成図 ・ 機器取扱説明書 ・ 消防設備設置届 | | |
| <p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

| | | |
|------------------------|---------------|------------------------------|
| <p>保全対象項目 E-14</p> | <p>非常警報設備</p> | <p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p> |
|------------------------|---------------|------------------------------|

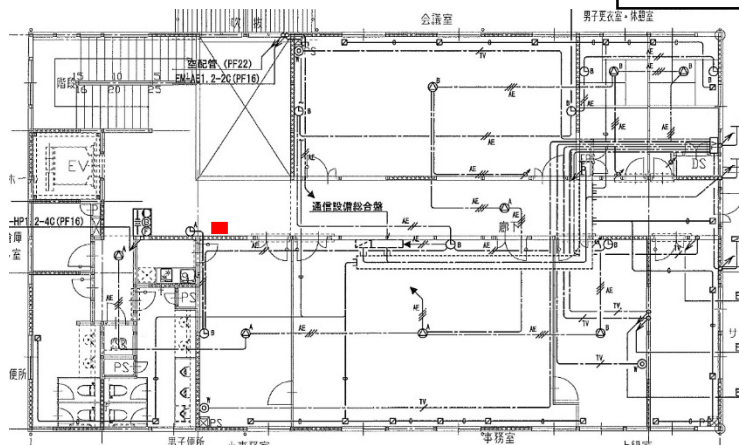
■ 保全対象 (写真等)



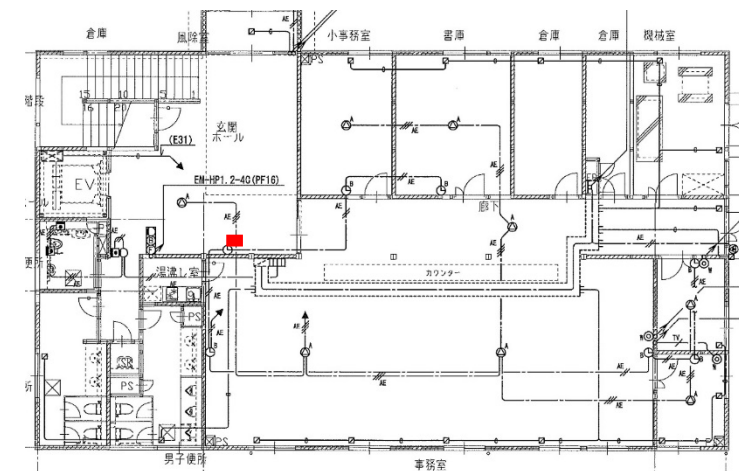
機器収容箱
(起動装置、表示灯、音響装置)

■ 保全対象の場所 (図面等)

■ 機器収容箱
(起動装置、表示灯、音響装置)



2階平面図



1階平面図




2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-15 | 屋外（ハンドホール） | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|---|------------|--|
| <p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドホールは建物に必要な電力・通信ケーブルを納めています。 ・蓋を開けたまま放置しないでください。落下の危険があります。 ・ケーブルが水に浸からないように、雨水が溜まった場合はバケツ、水中ポンプ等で水をくみ出してください。その際はケーブルを傷付けないよう十分注意してください。 <p>なお、梅雨時期、台風の前夜などは特に注意してください。</p> | | |
| <p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回／1年（第2編第3章3.13.1「構内配電線路・構内通信線路」） | | |
| <p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 <p>（第2編第3章.13.1「構内配電線路・構内通信線路」）</p> <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p> | | |
| <p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造体のひび割れ、蓋の損傷 <p>→ ハンドホール周辺を立入禁止にするなど安全対策を講じた上、専門業者に修理を依頼してください。</p> | | |
| <p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 | | |
| <p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（附属品その他引渡書による。） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

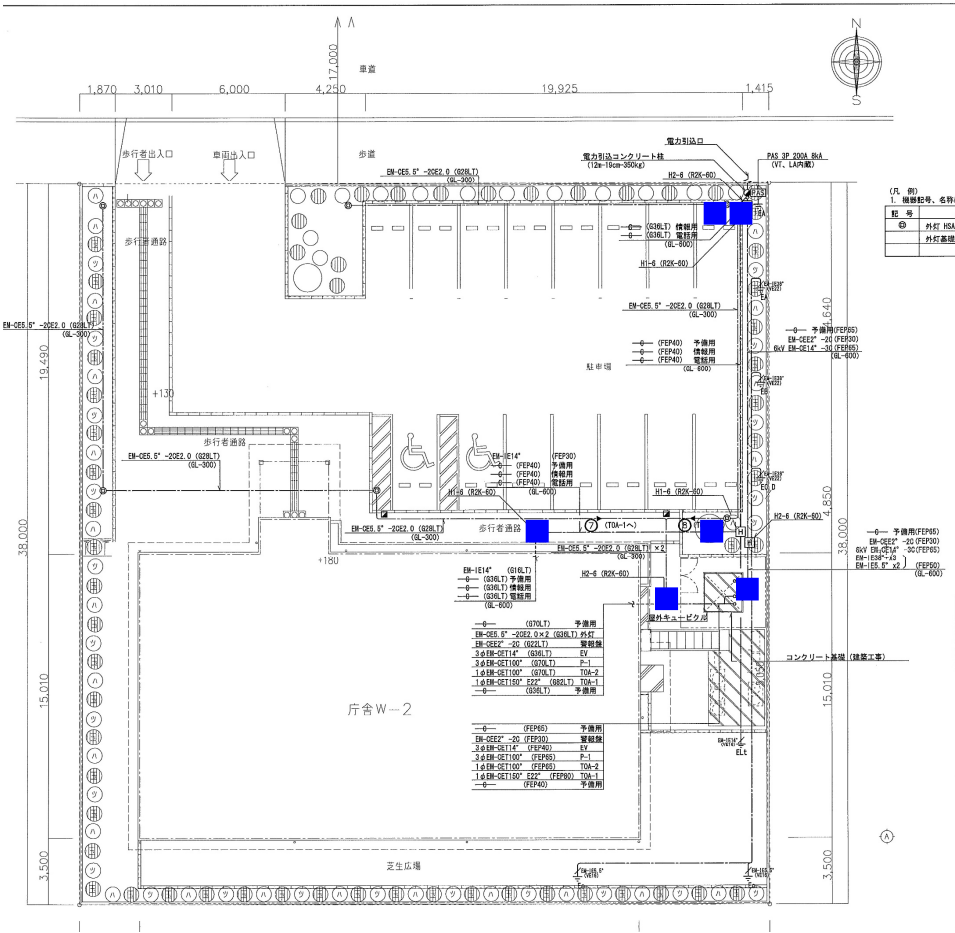
| | | |
|----------------|------------|--|
| 保全対象項目 E-15 | 屋外（ハンドホール） | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|----------------|------------|--|

■ 保全対象（写真等）

ハンドホール

■ 保全対象の場所（図面等）



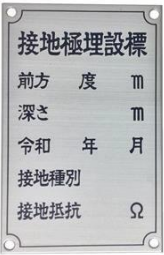



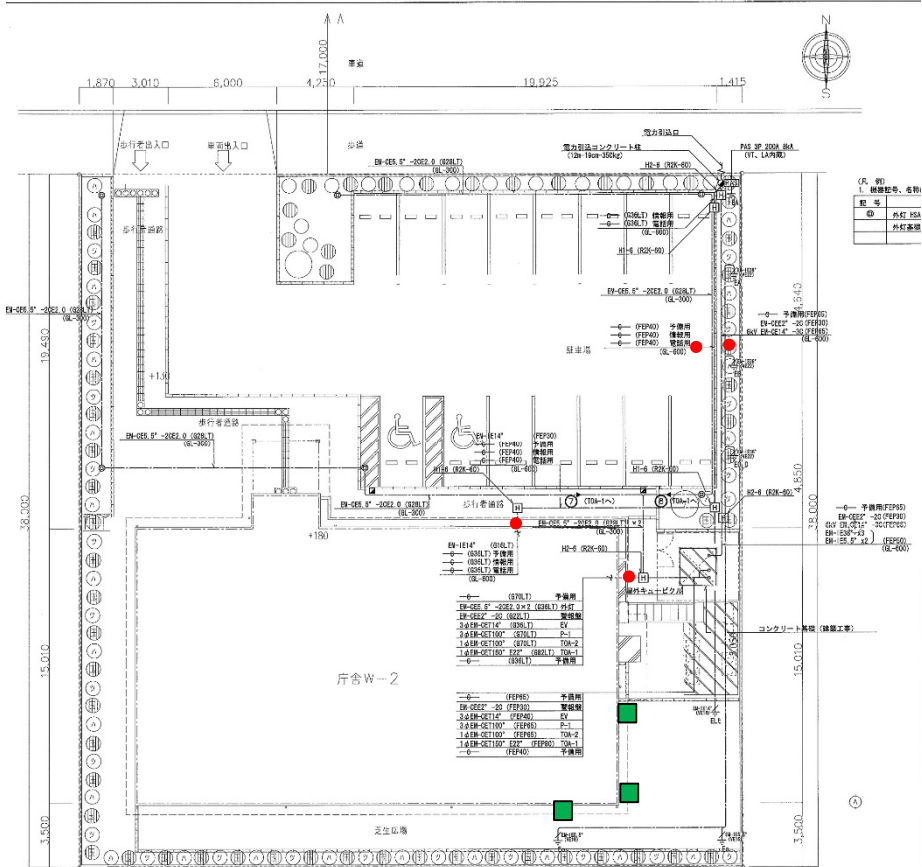
■ ハンドホール

配置図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 E-16 | 屋外（接地・地中埋設標） | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
|---|--------------|--|
| ①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 接地埋設標の矢印の方向、地中埋設標を掘削する場合は特に注意を促してください。 ・ 表面の表示が、色あせて見えにくくなる場合がありますので、その場合は取り替えてください。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第3章3.13.1「構内配電線路・構内通信線路」 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.13.1「構内配電線路・構内通信線路」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 欠落している、表示がきえている → 専門業者に修理を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（附属品その他引渡書による。） | | |



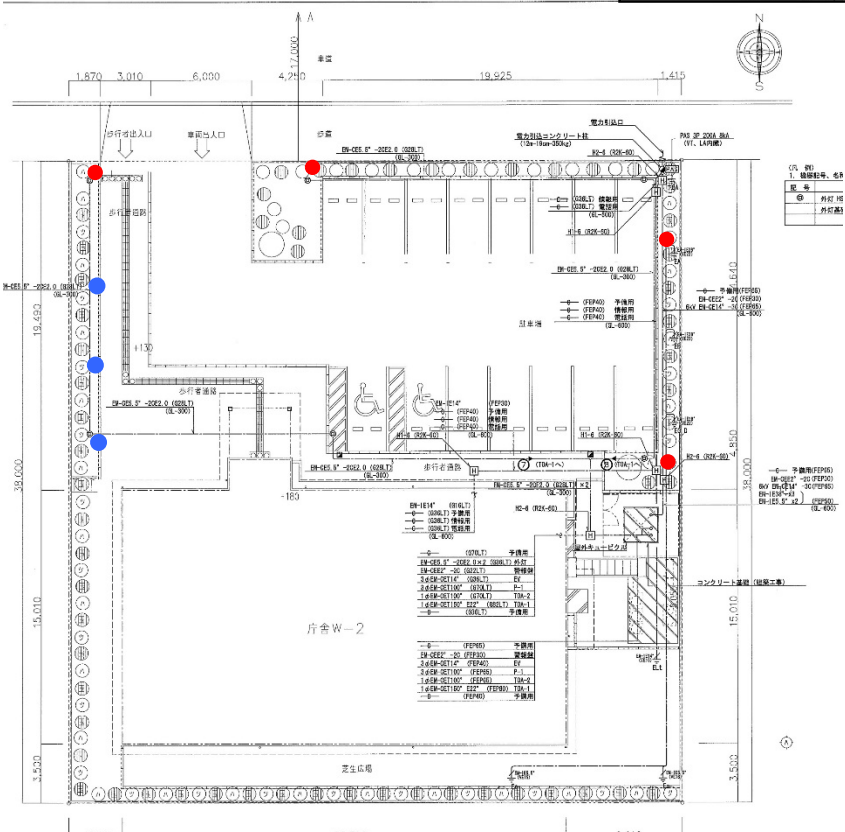
2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | | |
|--|---|---|---|
| <p>保全対象項目 E-16</p> | <p>屋外（接地・地中埋設標）</p> | <p>部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械</p> | |
| <p>■ 保全対象（写真等）</p> | | | |
|  |  |  |  |
| <p>接地理設標</p> | <p>地中埋設標</p> | | |
| <p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> | | | <p>● : 地中埋設標 ■ : 接地極埋設標</p> |
|  | | | |
| <p>配置図</p> | | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---|-------------|---|
| 保全対象項目 E-17 | 屋外（屋外用照明器具） | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
| ①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・屋外照明の点灯消灯は、照明制御盤のプログラムタイマーと自動点滅器により行います。 ・屋外照明の光源には、LED を使用しています。 ・ガラス部分の汚損又は変色により、照度の低下が起きますので注意してください。 | | |
| ②定期点検周期 <input type="checkbox"/> 法定点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1回／1年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 編第 3 章 3. 10. 1 「外灯」 ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 3 章 3. 10. 1 「外灯」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・点灯しない → 点灯しない場合は、専門業者に調査、修理を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|--|--------------------|---------------------------|
| <p>保全対象項目 E-17</p> | <p>屋外（屋外用照明器具）</p> | <p>部門 □建築 ■電気 □機械</p> |
| <p>■保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>屋外灯</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>庭園灯</p> </div> </div> | | |
| <p>■保全対象の場所（図面等）</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>● ガーデンライト</p> <p>● 屋外灯</p> </div>  <p style="text-align: center;">配置図</p> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---|--------------------|---|
| 保全対象項目 E-18 | 屋外（地中線用引込開閉器（UGS）） | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械 |
| ①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・地中線用負荷開閉器（UGS）は、送電会社と受電側の責任分界点に設置され、周辺に波及する波及事故（停電事故）を防止するために設置される重要な機器です。 ・地絡事故が発生した場合は、電力会社の変電所リレーが動作し、配電線への送電が停止された後、UGS を開放します。（主遮断器の電源側での短絡事故時） ・キャビネット内は、6.6kV の高圧電路が存在し危険なため、施錠してください。 | | |
| ②定期点検周期 <input type="checkbox"/> 法定点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：保安規程で点検対象としている場合は、保安規程の点検周期を参照 ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第3章 3.13.1「構内配電線路・構内通信線路」で指し示す 3.3.7「高圧負荷開閉器」 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章 3.13.1「構内配電線路・構内通信線路」で指し示す 3.3.7「高圧負荷開閉器」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・損傷、錆など <ul style="list-style-type: none"> → 電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼してください。 ・開閉器の不動作 <ul style="list-style-type: none"> → 電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法 (作成例 3-2)


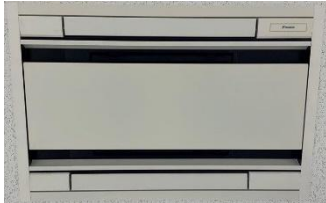


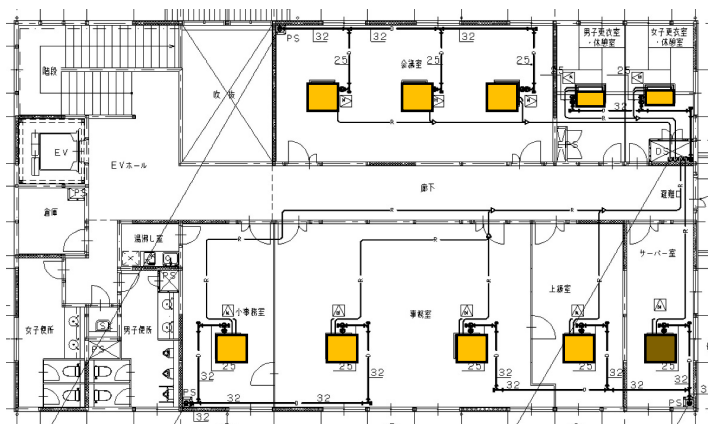
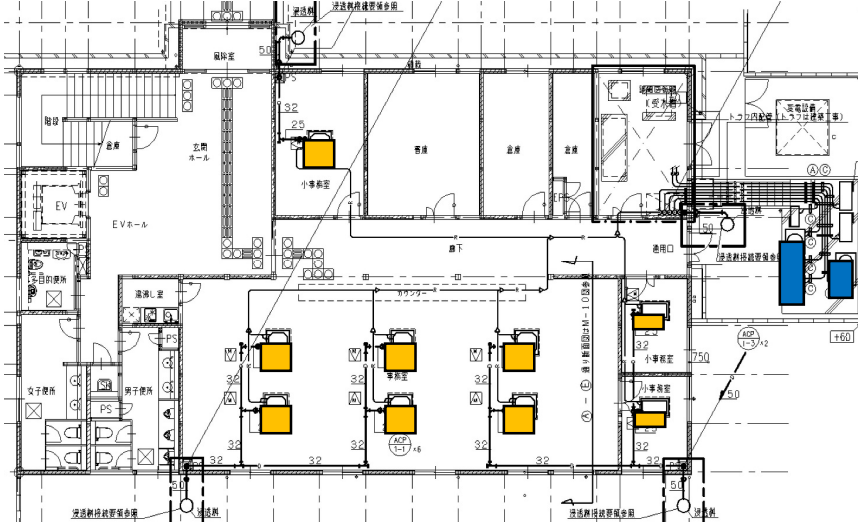
③ (機械) 目次

| | |
|---------------------------------|-------|
| M- 1_マルチパッケージ形空気調和機、パッケージ形空気調和機 | |
| M- 2_吹出口、吸込口 | |
| M- 3_空調配管 | |
| M- 4_全熱交換ユニット | |
| M- 5_送風機・有圧換気扇 | |
| M- 6_衛生器具 (車椅子使用者用便所) | |
| M- 7_衛生器具 (一般便所等) | |
| M- 8_小形給水ポンプユニット | |
| M- 9_衛生配管 | |
| M-10_貯湯式電気温水器 | |
| M-11_排水桝 | |
| M-12_屋外衛生設備 | |
| M-13_エレベーター設備 | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 M-1 | マルチパッケージ形空気調和機、パッケージ形空気調和機 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|---|----------------------------|--|
| ①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転は各室内の個別リモコンにて行います。 ・ 一部の部屋を除き 1 階庁舎管理室にある集中管理リモコンでも運転可能です。 ・ 発停、温度設定、風量設定、風向設定、タイマー発停が可能です。 ・ マルチ形の系統は冷暖房切替式となり、単独系統ごとの冷暖同時運転はできません。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易点検：1 回／3 か月、定期点検：1 回／3 年又は 1 回／1 年（圧縮機電動機定格出力による。）（フロン法 平成 26 年経済産業省・環境省告示第 13 号） ・ 確認：1 回／6 か月（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 編第 4 章 4. 3. 6 「パッケージ形空気調和機」 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 4 章 4. 3. 6 「パッケージ形空気調和機」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空調されない。 <ul style="list-style-type: none"> → 電源が OFF になっていないか。 → 操作したい機器とコントローラが合っているか。 → エアフィルター目詰まりで風量が低下していないか。 ・ コントローラに故障表示が出ている。 <ul style="list-style-type: none"> → 取扱説明書にて故障内容を確認し、必要に応じて専門業者に調査、修理を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

| | | |
|---|----------------------------|---|
| 保全対象項目 M-1 | マルチパッケージ形空気調和機、パッケージ形空気調和機 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
| ■ 保全対象 (写真等) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>カセット形 (4方向吹出形)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>カセット形 (2方向吹出形)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>空調リモコン (男子更衣室・女子更衣室)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>カセット形 (1方向吹出形)</p> </div> </div> | | |
| ■ 保全対象の場所 (図面等) <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 70%;">  <p style="text-align: right;">2階平面図</p> </div> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> マルチパッケージ形空気調和機 (屋内機) パッケージ形空気調和機 (屋内機) 屋外機 </div> </div> <div style="margin-top: 20px;">  <p style="text-align: right;">1階平面図</p> </div> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 M-2 | 吹出口、吸込口 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|---|---------|--|
| <p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 吹出口は暖房時には下向き、冷房時は水平方向に吹出すように内コーン（又は羽根角度）を手動にて動かしてください。 吹出口及び吸込口は風量調整済ですが、風量調節シャッターにより開度を調整することができます。 | | |
| <p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検：1回／1年（建基則第6条の2） 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2編第4章4.6.1「ダクト」 <p>注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p> | | |
| <p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第4章4.6.1「ダクト」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p> | | |
| <p>④不具合と対応</p> <p><input type="checkbox"/>吹出口</p> <ul style="list-style-type: none"> 風量が少ない・多い <p>→ 風量調節シャッターにより適切な開度となっているか。</p> | | |
| <p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| <p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （第4編第2章2.2.2「事務室」） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---------------|---------|--|
| 保全対象項目 M-2 | 吹出口、吸入口 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|---------------|---------|--|

■ 保全対象（写真等）



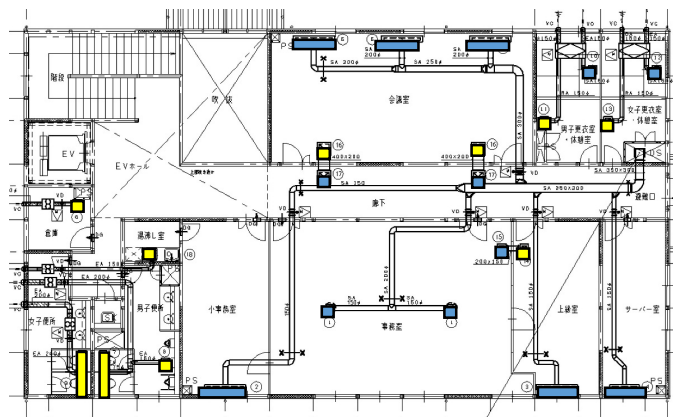
天井吹出口



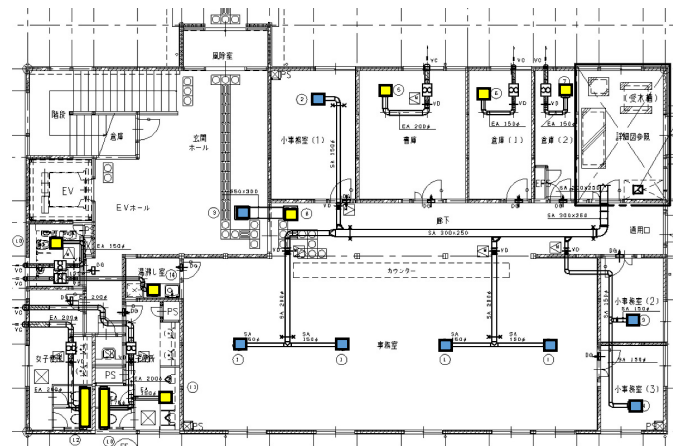
天井吸入口

■ 保全対象の場所（図面等）

天井吹出口
 天井吸入口



2 階平面図



1 階平面図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 M-3 | 空調配管 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|---|------|--|
| ①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・配管の種類は適宜識別表示がされています。 ・加湿用給水管は冷房期には元バルブを閉めて水抜きを行ってください。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／1年（建基則第6条の2） ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第4章4.6.2「配管」 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第4章4.6.2「配管」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・配管内の冷温水が流れていない（機器側の流量計が振れていない） <ul style="list-style-type: none"> → 当該機器の前後のバルブが閉まっているか。 ・漏水している <ul style="list-style-type: none"> → 漏水がある場合は、当該系統のバルブを閉め、専門業者に修理を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・施工図 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に必要に応じて実施してください。） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---------------|------|--|
| 保全対象項目 M-3 | 空調配管 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|---------------|------|--|

■ 保全対象（写真等）

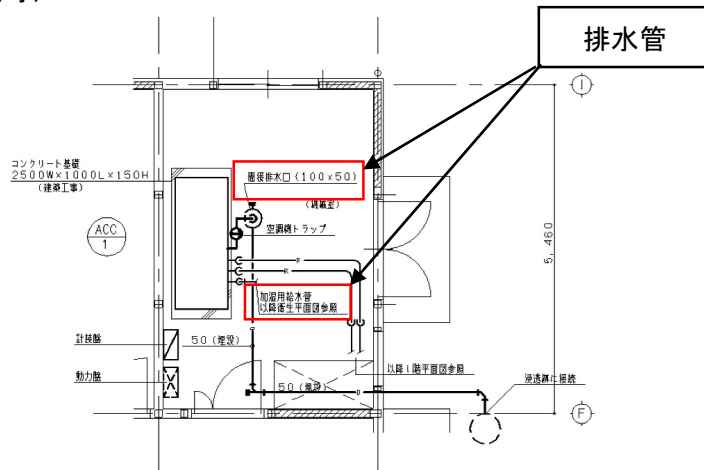


配管識別表示

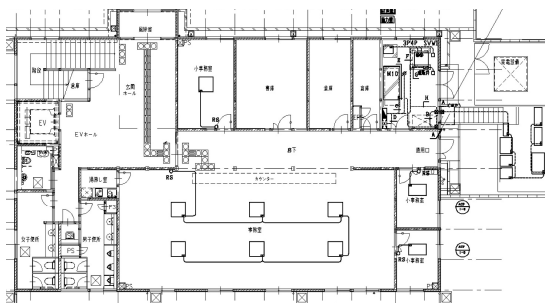


空調補給水・加湿用給水管元バルブ
(減圧式逆流防止弁)

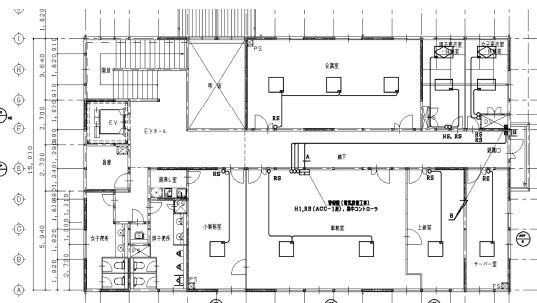
■ 保全対象の場所（図面等）



機械室平面図



1階平面図



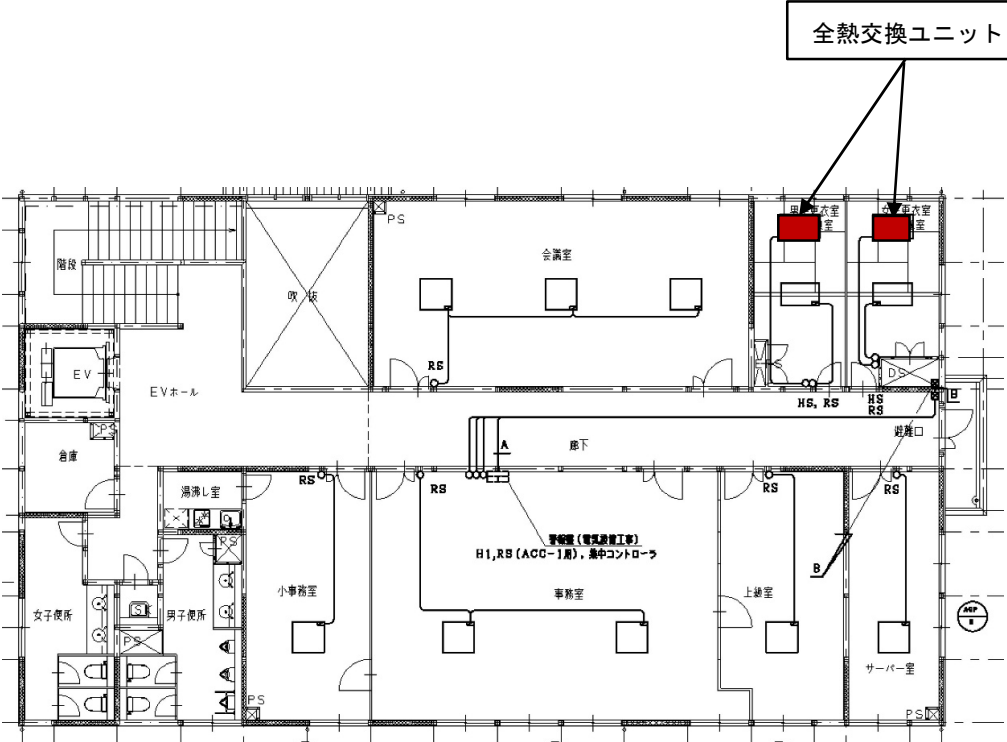


2階平面図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 M-4 | 全熱交換ユニット | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|--|----------|--|
| <p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転は各室内の手元スイッチにて行います。 ・ 冷暖房時は省エネルギーのため、必ず熱交換気運転としてください。 ・ 夜間や不在時にもシックハウス対策の為、弱運転を行ってください。 | | |
| <p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし ・ 確認：1回/6か月（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第4章4.4.10「全熱交換器」（カセット形は除く。） <p>注．周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カセット形の場合は、機器取扱説明書等を参考に実施してください。 | | |
| <p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第4章4.4.10「全熱交換器」） ・ カセット形の場合は、機器取扱説明書等を参考に実施してください。 <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p> | | |
| <p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転しない <ul style="list-style-type: none"> → 電源がOFFになっていないか。 ・ 風量が少ない <ul style="list-style-type: none"> → フィルター、熱交換エレメントが目詰まりしていないか。 → 必要に応じて専門業者に調査、修理を依頼してください。 | | |
| <p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| <p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に必要に応じて実施してください。） | | |





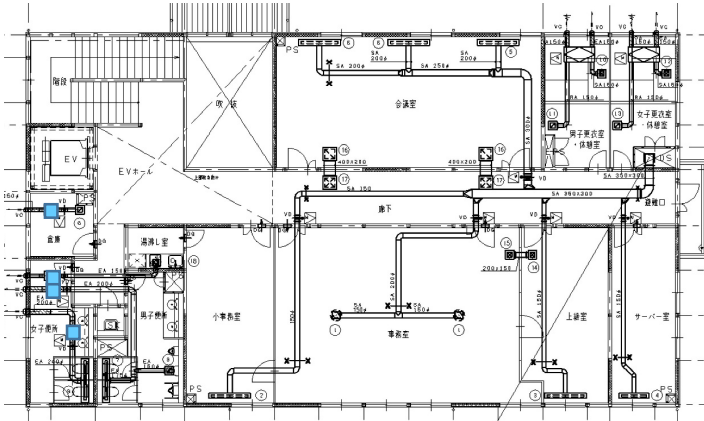
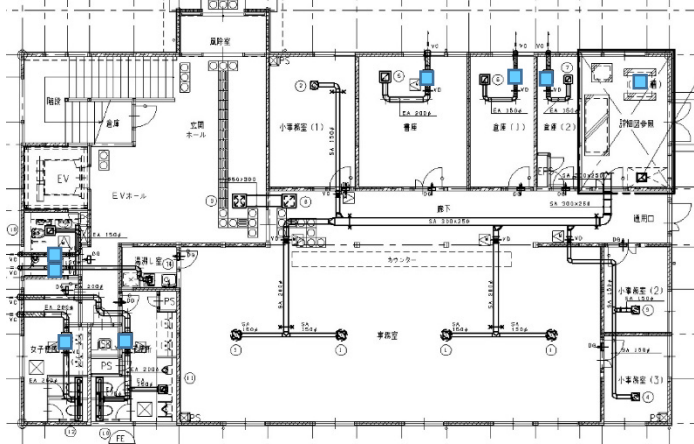
2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 M-4 | 全熱交換ユニット | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|--|----------|--|
| <p>■ 保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>全熱交換ユニット (カセット形)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>全熱交換ユニット (天井隠ぺい形)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>全熱交換ユニットリモコン (男子更衣室・女子更衣室)</p> </div> </div> | | |
| <p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <div style="text-align: center;">  <p>2 階平面図</p> </div> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---|------------------|---|
| 保全対象項目 M-5 | 送風機・有圧換気扇 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
| ①管理上の注意事項 ・換気の対象部位によって目的・使用環境が異なりますので、機能維持に努めてください。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 ・点検：1回／3年（建基則第5条の2）、1回／1年（建基則第6条の2） ・確認：1回／6か月（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 ・送風機：第2編第4章4.4.8「送風機」 注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。 ・有圧換気扇：第2編第4章4.4.9「天井扇・有圧換気扇」 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第4章4.4.8「送風機」及び4.4.9「天井扇・有圧換気扇」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 ・運転しない → 電源が送られているか（ブレーカーが落ちていないか） ・換気されていない → ダンパー（VD、FD、SFD）が閉じていないか。 ※SFDは、手動復帰形のため現地で復旧を行ってください。 ・防火ダンパーのヒューズが切れている → 専門業者にヒューズの交換を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 ・完成図 ・機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 ・適宜（機器取扱説明書等を参考に必要に応じて実施してください。） | | |


2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---|------------------|---------------------------|
| <p>保全対象項目 M-5</p> | <p>送風機・有圧換気扇</p> | <p>部門 □建築 □電気 ■機械</p> |
| <p>■保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>消音ボックス付送風機 (斜流送風機)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>消音ボックス付送風機 (ストレートシロッコファン)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>遠心送風機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>有圧換気扇</p> </div> </div> | | |
| <p>■保全対象の場所（図面等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>2階平面図</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■ 送風機</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>1階平面図</p> </div> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 M-6 | 衛生器具（車椅子使用者用便所） | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|--|-----------------|--|
| ①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動水栓の本体部（台下）には水がかからないようにしてください。 ・ 水栓等の器具に荷重・衝撃を与えないでください。 ・ 大便器、オストメイトは、手動で排水を行うことができます。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：1回／1年（建基則第6条の2） ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第4章4.5.11「衛生器具」 注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第4章4.5.11「衛生器具」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 <input type="checkbox"/> 自動水栓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水が出ない → 止水栓が開いているか。 ・ 水量が少ない → 止水栓が適正に開いているか。ストレーナに詰まりはないか。 ・ 水が止まらない → 止水栓を閉めて、専門業者に調査、修理を依頼してください。 <input type="checkbox"/> 電気温水器 <ul style="list-style-type: none"> ・ お湯が出ない → 止水栓が開いているか。一次電源がONになっているか。 ・ 湯量が少ない → 止水栓が完全に開いているか。減圧弁、ストレーナに詰まりはないか。 ・ 温度が低い → 設定温度の確認 → 連続給湯のあとではないか。（時間を置いて再度確認） <input type="checkbox"/> 大便器については次項と同じ → 処置をしても改善されない場合、専門業者に調査、修理を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （第4編第2章2.2.5「便所・洗面所」） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---|------------------------|---|
| <p>保全対象項目 M-6</p> | <p>衛生器具（車椅子使用者用便所）</p> | <p>部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械</p> |
| <p>■保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="text-align: right;"> <p>車椅子使用者用便所</p> </div> </div> | | |
| <p>■保全対象の場所（図面等）</p> <p>1階 車椅子使用者用便所</p> <div style="text-align: center;">  <p>1階平面図</p> </div> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

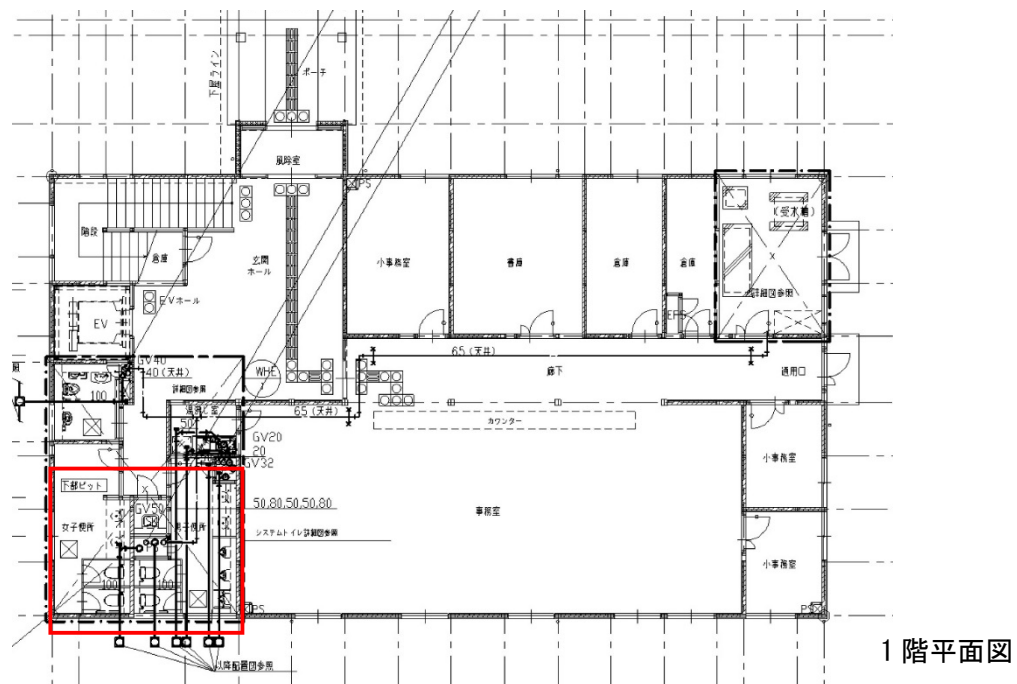
| 保全対象項目 M-7 | 衛生器具（一般便所等） | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|--|-------------|--|
| ①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動水栓の本体部（台下）には水がかからないようにしてください。 ・ 水栓等の器具に荷重・衝撃を与えないでください。 ・ 一部の器具は、止水栓により水量を調節できます。絞り過ぎると排水不良を起こすので注意してください。 ・ 掃除流しは、あふれ防止用排水がありません。水溜め用ゴム栓の使用は、あふれに注意して使用してください。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：1回／1年（建基則第6条の2） ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第4章4.5.11「衛生器具」 注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編4.5.11「衛生器具」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 <input type="checkbox"/> 大便器・小便器 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水が出ない → 止水栓が開いているか。 ・ 水量が少ない → 止水栓が適正に開いているか。 （汚物が流れない） → ストレーナに詰まりはないか。 ・ 水が止まらない → 止水栓を閉めて、専門業者に調査、修理を依頼してください。 ・ 水が溢れる → 器具・配管に詰まりはないか。 <input type="checkbox"/> 自動水栓については前項と同じ <ul style="list-style-type: none"> → 処置をしても改善されない場合、専門業者に修理依頼をしてください。 | | |
| ⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （第4編第2章2.2.5「便所・洗面所」） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|--|--------------------|------------------------------|
| <p>保全対象項目 M-7</p> | <p>衛生器具（一般便所等）</p> | <p>部門 □ 建築 □ 電気 ■ 機械</p> |
| <p>■ 保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>大便器</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>洗面器</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小便器</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>掃除流し</p> </div> | | |

■ 保全対象の場所（図面等）


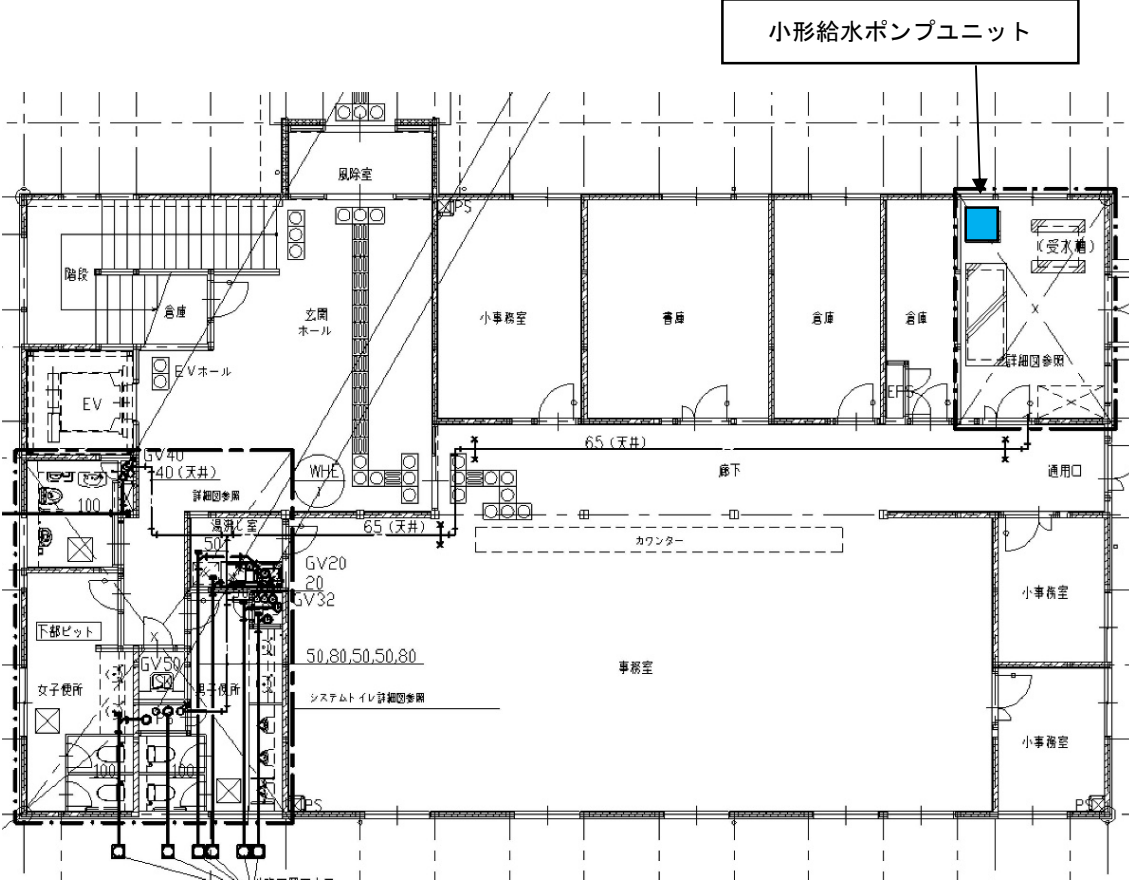
各階 一般便所



2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---|-------------|---|
| 保全対象項目 M-8 | 小形給水ポンプユニット | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
| ①管理上の注意事項 ・配管内圧力を感知し、ポンプは自動運転します。運用上、特に操作する部分はありません。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 ・点検：1回／1年（建基則第6条の2） ・確認：1回／6か月（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 ・第2編第4章4.5.7「ポンプ」 注．周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第4章4.5.7「ポンプ」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 ・水圧が低い → 吐水圧設定が適正となっているか。 ・故障時は一括警報が中央監視装置に表示されます。故障の際は現地盤にて内容を確認し、必要に応じて専門業者に調査、修理を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 ・完成図 ・機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---|--------------------|---------------------------|
| <p>保全対象項目 M-8</p> | <p>小形給水ポンプユニット</p> | <p>部門 □建築 □電気 ■機械</p> |
| <p>■保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>ポンプ外観</p> </div> </div> | | |
| <p>■保全対象の場所（図面等）</p> <div style="text-align: center;">  <p>1 階平面図</p> </div> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 M-9 | 衛生配管 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|--|------|--|
| <p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配管は種類別に識別表示されているので、改修時に誤接続を行わないようにしてください。 ・バルブ開閉札に従った状態を維持してください。 | | |
| <p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回/1年（建基則第6条の2） ・確認：1回/1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第4章4.6.2「配管」 | | |
| <p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第4章4.6.2「配管」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p> | | |
| <p>④不具合と対応</p> <p><input type="checkbox"/>給水配管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水が出ない → 仕切弁は開いているか。 ・水が止まらない → 衛生器具付属の止水栓にて対応、または系統ごとのバルブを閉めて専門業者に調査、修理を依頼してください。 <p><input type="checkbox"/>排水配管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水が流れない → 配管に詰まりはないか。 ・排水口より臭気がでる → トラップの封水は切れていないか。 | | |
| <p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・施工図 ・施工計画書 | | |
| <p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|--|------|--|
| 保全対象項目 M-9 | 衛生配管 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
| ■ 保全対象（写真等） | | |
|  | |  |
| 配管識別表示 | | バルブ開閉札 |
| ■ 保全対象の場所（図面等） | | |
| <ul style="list-style-type: none">・ P S 内・ 給水ポンプ室内・ 地下配管ピット内 | | |

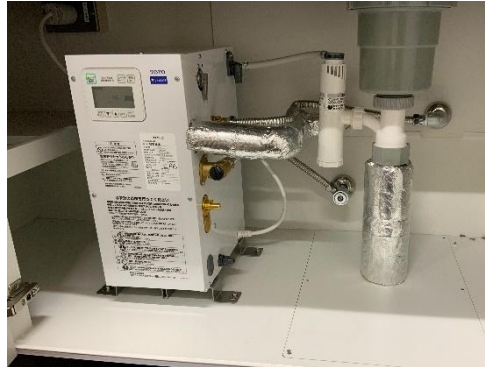
2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---|----------|---|
| 保全対象項目 M-10 | 貯湯式電気温水器 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
| ①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体に週間タイマーがあります。 ・ 排水口はオーバーフローやタイマーによる貯湯（約 90℃）が排出されます。 ・ 長期間使用しない場合は、貯湯槽内の排水を行い、一次電源を OFF にしてください。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：1 回／1 年（建基則第 6 条の 2） ・ 確認：1 回／1 年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 編第 4 章 4.5.9「電気温水器」 注. 周期 I 又は周期 II の適用は、第 2 編第 1 章 1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 4 章 4.5.9「電気温水器」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ お湯が出ない <ul style="list-style-type: none"> → 止水栓が開いているか。 → 一次電源が ON になっているか。 ・ 湯量が少ない <ul style="list-style-type: none"> → 止水栓が完全に開いているか。 → 減圧弁、ストレーナに詰まりはないか。 ・ 温度が低い <ul style="list-style-type: none"> → 設定温度の確認 → 連続給湯のあとではないか。（時間を置いて再度確認） → 処置をしても改善されない場合、専門業者に修理を依頼してください。 | | |
| ⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

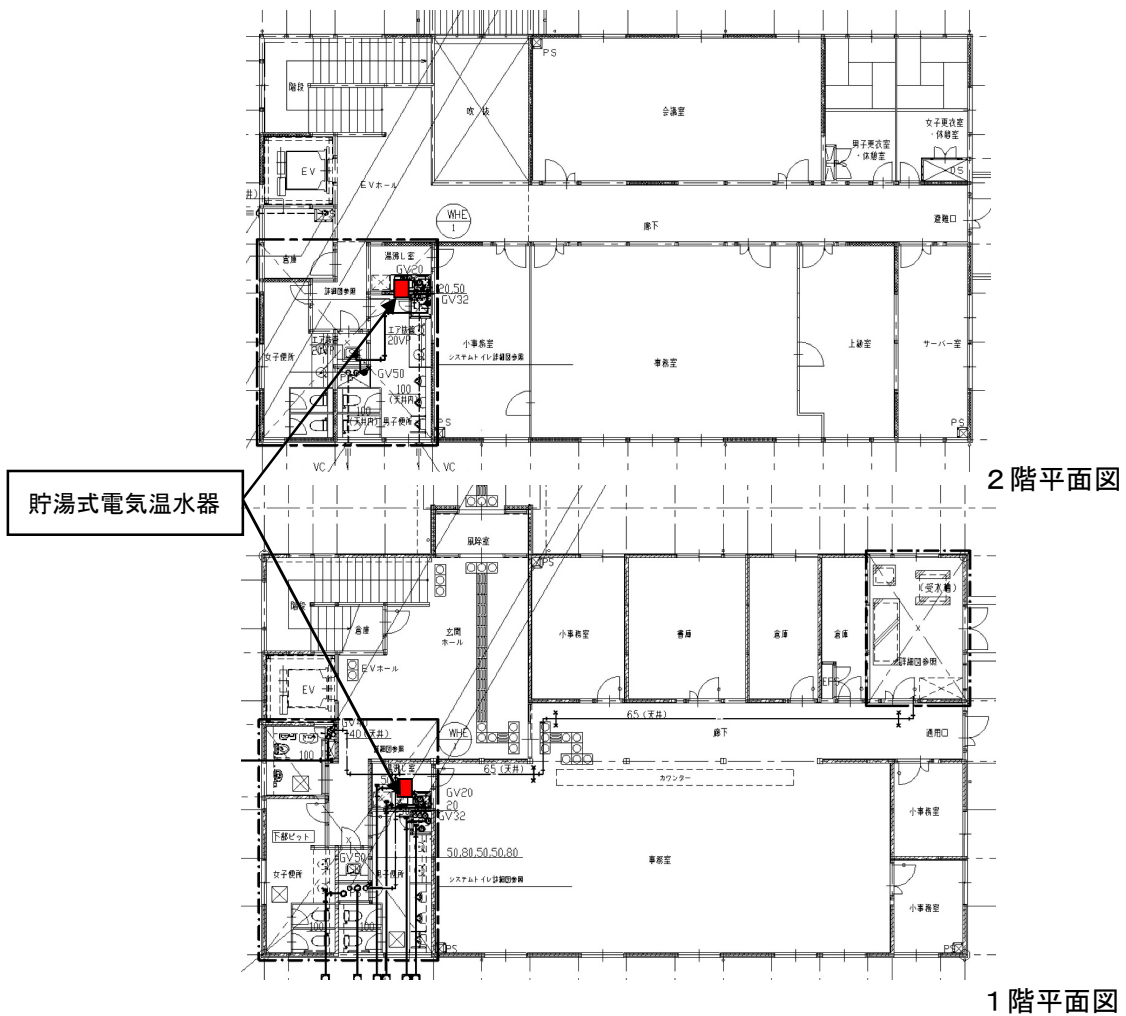
| | | |
|----------------|----------|--|
| 保全対象項目 M-10 | 貯湯式電気温水器 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|----------------|----------|--|

■ 保全対象 (写真等)



貯湯式電気温水器

■ 保全対象の場所 (図面等)





2階平面図

1階平面図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 M-11 | 排水枵 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|---|-----|--|
| <p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内には汚水枵（塩ビ製小口径枵）とピット湧水を雨水枵へ排水する枵（塩ビ製小口径枵）があります。 落下防止のため、蓋を開けたまま放置しないでください。 | | |
| <p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検：1回／1年（建基則第6条の2） 確認：なし <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2編第8章8.3.4「排水枵・マンホール・側溝・街きよ」 <p>注. 周期Ⅰ又は周期Ⅱの適用は、第2編第1章1.1.2「点検の周期」（d）を参考に判断してください。</p> | | |
| <p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第8章8.3.4「排水枵・マンホール・側溝・街きよ」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p> | | |
| <p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 枵蓋にガタツキがある <ul style="list-style-type: none"> → 蓋の受けにゴミ噛みはないか。 → パッキンの外れ等はないか。 排水が悪い <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に調査、修理を依頼してください。 | | |
| <p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成図 ・ 機器取扱説明書 | | |
| <p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

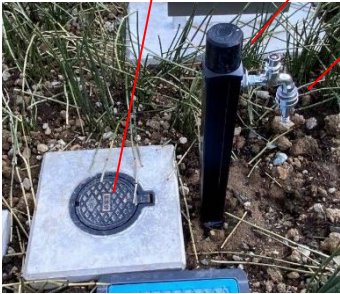

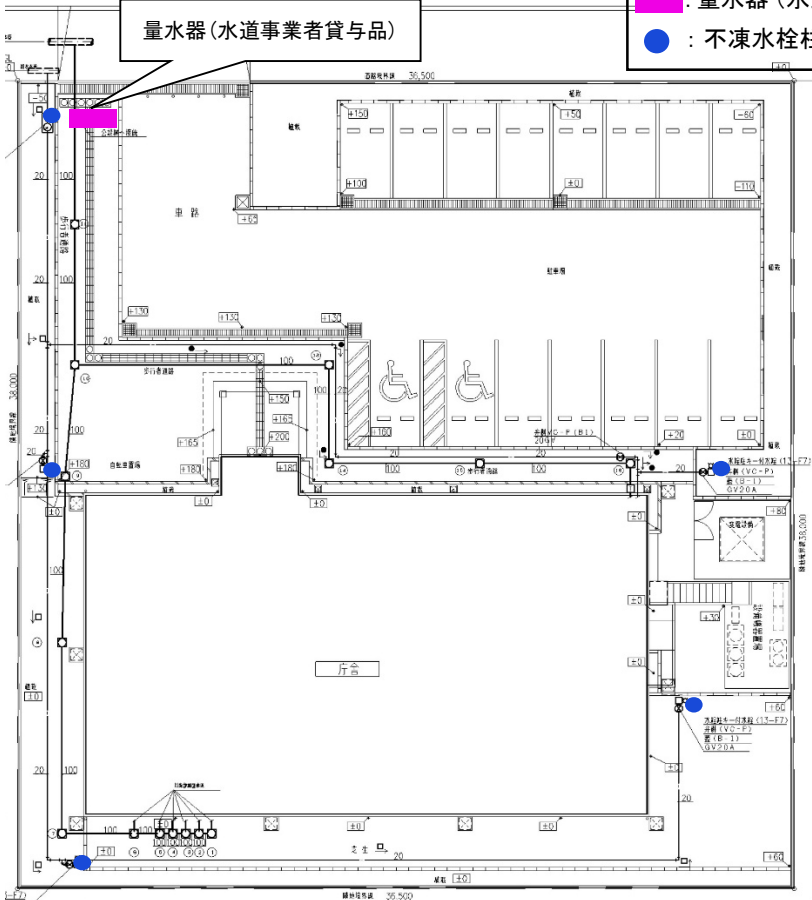
2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---|------------|---------------------------|
| <p>保全対象項目 M-11</p> | <p>排水枦</p> | <p>部門 □建築 □電気 ■機械</p> |
| <p>■保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="240 521 568 768">  <p style="text-align: center;">雨水枦</p> </div> <div data-bbox="644 515 948 775">  <p style="text-align: center;">汚水枦（蓋）</p> </div> </div> | | |
| <p>■保全対象の場所（図面等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="395 1070 1209 1966"> <p style="text-align: center;">配置図</p> </div> <div data-bbox="1197 981 1402 1149" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地中埋設枦 ■ 雨水枦 --- 雨水排水管 --- 浸透トレンチ </div> </div> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| 保全対象項目 M-12 | 屋外衛生設備 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|--|--------|--|
| <p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水槽フェンス内以外の散水栓は、キー式のハンドルとなっています。使用时以外はキーを外してください。 ・メインの水道メータは水道事業者の管理となっています。水道局の検針員が使用量を確認します。 ・水道事業者貸与品水道メータの2次側には、1 m³・1パルスの隔測式量水器（私設）が設置されています。 ・凍結のおそれのある冬期の時期は、事前に不凍水栓柱のハンドルを「とまる」へまわし、水栓を開けて水抜きを行ってください。水抜き後は、水栓を閉めてください。 | | |
| <p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／1年（建基則第6条の2） ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第4章4.6.2「配管」 | | |
| <p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第4章4.6.2「配管」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 | | |
| <p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水栓柱の水が出ない <ul style="list-style-type: none"> → 止水栓は開いているか。 → 不凍水栓柱上部ハンドルが「でる」方向になっているか。 → 給水ポンプは動いているか（他の水栓から水は出るか）。 → 吐水口にもものが詰まっていないか。 → 必要に応じ専門業者に調査、修理を依頼してください。 | | |
| <p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・施工図 ・機器取扱説明書 | | |
| <p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|---|---------------|------------------------------|
| <p>保全対象項目 M-12</p> | <p>屋外衛生設備</p> | <p>部門 □ 建築 □ 電気 ■ 機械</p> |
| <p>■ 保全対象（写真等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>止水栓 不凍水栓柱 キー付き水栓</p> <p>不凍水栓柱・キー付き水栓</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>隔測式量水器</p> </div> </div> | | |
| <p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 80%;">  <p>量水器(水道事業者貸与品)</p> <p>配置図</p> </div> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● : 隔測式量水器 : 量水器（水道事業者貸与品） ● : 不凍水栓柱+散水栓 </div> </div> | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|--|-----------------|---|
| 保全対象項目 M-13 | エレベーター設備 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
| ①管理上の注意事項 ・エレベーターの運転操作は簡単にできますが、その運転を自動的に制御する機械的、電気的な機構はきわめて複雑で、保守点検は専門技術を必要とします。 | | |
| ②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 ・点検：1回／1年（建基則第6条の2） ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 ・第2編第7章7.2.6「ロープ式エレベーター（機械室なし）」 注．周期A又は周期Bの適用は、第2編第7章7.2.6「ロープ式エレベーター（機械室なし）」（c）を参考に判断してください。 | | |
| ③点検等の作業項目及び作業内容 ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第7章7.2.6「ロープ式エレベーター（機械室なし）」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。 | | |
| ④不具合と対応 ・扉の開閉不良 → 敷居の溝にゴミなどが詰まっていないか確認してください。 ごみ等がない場合は、保守会社に調査、修理を依頼してください。 ・ピットに浸水、その他の異常 → 速やかに保守会社へ連絡し、乗客の救出、エレベーターの点検をしてください。 | | |
| ⑤関連図書等 ・完成図 ・機器取扱説明書 | | |
| ⑥清掃周期と清掃方法 ・共通仕様書（令和5年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （第4編第2章2.2.7「エレベーター」） | | |

2) 保全の方法（作成例 3-2）

| | | |
|----------------|----------|--|
| 保全対象項目 M-13 | エレベーター設備 | 部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 機械 |
|----------------|----------|--|

■ 保全対象（写真等）



エレベーター出入口

■ 保全対象の場所（図面等）

